

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2024年3月21日（第1.0版）

承認番号	24012
課題名	旭川医科大学病院救急外来受診患者の救急外来からの転院調整の現状と課題
研究期間	西暦 2024年5月23日（実施許可日） ～ 2025年3月30日
研究の対象	2018年4月～2024年3月までに救急外来受診後に近隣の病院へ転院調整が開始された方
利用する試料・情報の種類	☒ 診療情報（詳細：電子カルテ上の来院時間、退出時間、来院曜日、年齢、性別、診断名、転院調整をした科、医療ソーシャルワーカー（MSW）の関わり、医療手段について等が含まれます。個人が特定されるような情報は含まれておりません。） ☐ 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐ 血液 ☐ その他（ ）
利用予定日	開始日 2024年 5月 30日
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	令和5年旭川市における高齢化率は35%を超え、高齢者の入院は増加することが予測されます。 一方、旭川医科大学病院救命救急センターは重篤で緊急性の高い救急患者さんに対応しており、独居や介護する家族がいないなどの社会的理由による入院や軽症患者をすべて受け入れることは困難です。現在は、救命救急センターに入院した後に病状が落ち着き次第転院調整を始めていますが救急外来から近隣の医療施設への転院調整を始め、直接転送や入院後早期の転院につなげる事ができる可能性があります。 本研究では、旭川医科大学病院救急外来において転院調整が始まった患者さんおよび救急外来から直接転院搬送となった状況を明らかにすることを目的とします。本研究により救急外来における地域連携や転院調整の課題、対策の在り方および救急外来の適正利用等の基礎的な資料になると考えます。
研究の方法	2018年4月～2024年3月までの期間で救急外来を受診後に直接転院搬送された患者さんの診察情報から転院目的、疾患、MSWの介入、転院決定までの時間等の情報を単純集計し、調整の現状を明らかにします。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院 看護部 救命救急センターナースステーション
看護師 佐藤希 （研究責任者）

〒078-8510

旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号

電話（直通）0166-69-3715